

# 自立と協働

## 見える化、見せる化、話せる化の先にあるもの



高山市議会議長 中田 清介

新年あけましておめでとございます。

市民の皆様におかれましては、平成28年の輝かしい新春をご家族お揃いで、ご健勝にてお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、一昨年のような度重なる大きな災害もなく穏やかな1年で、ほっと胸をなでおろしております。

こうしたなか、観光面においては、北陸新幹線の開業もあり、外国人観光客をはじめ観光客の入り込みが大幅に増加をいたしました。

美しい自然、飛騨牛などの食、情緒豊かな伝統文化や多種多様な温泉など、本市が誇る豊富な観光資源やおもてなしの心を多くの人々に堪能していただけましたものと嬉しく思っております。

また、昨年は、本市のまちづくりにとって、新たなスタートの年でもありました。

10年後の本市の姿を「人・自然・文化がおりなす活力とやさしさのあるまち 飛騨高山」とする「高山市第八次総合計画」や人口減少克服と地方創生をあわせて行うことにより、将来にわたって持続可能なまちを目指す「高山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定、更には、市民が主役という理念のもと、地域社会を構成する多様な主体が、ともに手を携え、地域課題の解決に取り組む「協働のまちづくり」の取り組みも始まりました。

高山市議会も4月の改選により、新しいメンバーでスタートいたしました。

議会としても、こうしたまちづくりが着実にすすむよう、そして市民の皆様の負託に応えられるよ

う、積極的に地域に向き、市民の皆様のお声を聞きし、そのお声を市政運営に結びつける政策形成サイクルの確立をはじめ、議会の「見える化」「見せる化」「話せる化」をすすめるなかで、議会における自立と協働を主眼に、二元代表制の一翼を担う議事機関として、広大な市域におけるまちづくりの責任ある意思決定機関として、その責務を果たしてまいります。

本年は、昭和11年11月1日に市制が施行されてから80年を迎えます。

先人の方々のたゆまざる努力と市民の皆様の深いご理解とご協力が、今日の本市の発展に繋がっていることにあらためて心から感謝を申し上げます。

また、秋には、市民の皆様が長年待ち望んでいた「高山駅舎整備、自由通路の開通」も予定されており、観光客を迎える玄関口として、中心市街地の活性化やにぎわいの創出に大きな効果をもたらすものと期待をしております。

今、本市を取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化、PPPの大筋合意など、これまで以上に困難な、そして予測が難しい社会経済情勢のなかにあります。

高山市議会といたしましては、今後とも、市民福祉の向上を図るため、民主的で持続可能なまちづくりに全力で取り組んでまいりますので、市民の皆様の格別のご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年が、市民の皆様にとって健やかで幸せに満ちた一年となりますことを心からお祈り申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。